

令和5年度 第2回羽島市子ども・子育て会議 会議録（要旨）

日 時	令和6年3月1日（金）午後2時00分～午後3時30分
場 所	羽島市役所 3階 301会議室
出席者	<p>（委員）出席者10名 布原佳奈会長、高砂房子副会長、浅野直美委員、北川山治委員、安藤理加委員、長島秀賢委員、田中真弓委員、浅野美保委員、長谷恵美委員、山田英理華委員</p> <p>（事務局）12名 松井市長、横山健幸福祉部子育て・健幸担当部長、熊崎健幸福祉部次長（兼）子育て・健幸課長、高橋学校教育課長、木村福祉課長、佐藤保険年金課長、加藤子育て・健幸課子ども家庭センター所長、柴田子育て・健幸課健幸担当課長補佐、衣斐子育て・健幸課子ども家庭センター所長補佐、八島子育て・健幸課子育て担当課長補佐（兼）子育て支援係長、小森子育て・健幸課幼保支援係長、山北子育て・健幸課手当係長</p>
内 容	<p>1 開会 2 あいさつ 3 議事</p> <p>（1）アンケート調査の結果について —事務局より資料に基づき説明— （委員）放課後児童教室について、新1年生の児童が4月1日から利用できることについての周知はどのようにしているか。 （事務局）市ホームページ等で、4月1日から利用が可能と周知している。また、窓口や電話などでお尋ねがあった場合は、直接説明している。情報の提供が少ないという意見は非常に多いが、ホームページでの周知をはじめ重層的に周知を行っている。しかし、ホームページの活用方法が難しいという意見もあるので、今後はホームページやSNS等の利用についての周知もしていきたい。</p> <p>（委員）放課後児童教室について、同居している高齢者の方の就労状況等も入室要件となっているが、要件を緩和できないか。 （事務局）同居の高齢者の方においても、就労状況等の要件が必要であるが、ご病気等のご事情がある場合は、放課後児童教室の利用が可能である。ご理解いただきたい。</p> <p>（委員）最近、病児保育やファミリーサポートの利用が少ないと感じる。ホームページでの周知も理解できるが、対面で直接説明する方がよいのではないか。 （委員）最近、ひとり親家庭が増加している傾向があると感じており、様々な状況の家庭があることを念頭に周知をお願いしたい。</p>

(委員) 子育て支援センターなどの利用が、もう少し活発になると良い。利用したことがない方が最初の1歩として行きやすいように、既に利用している方から誘ってもらえるような取り組みや、キャッチフレーズを設定して、最初の1歩につながりやすい取り組みを行ってはどうか。

(事務局) 近年はコロナの影響もあり、子育て支援センターや保健センターでの取り組みを抑えながら実施してきた。今後はキャッチフレーズを設定するなど何かを組み入れることを検討し、より利用者の方たちが、声のかけあいができる場となるように広げていきたい。

(委員) 地域でのケースとしてヤングケアラーの家庭や、心配な児童がいる家庭を見かけることがある。なかなか支援につながっていないので、適切な支援をお願いしたい。

(事務局) 地域において、そのようなケースがあった場合は、親御さんを含めたご相談に応じる体制を整えているため、積極的に市役所へご連絡いただけるとありがたい。

(委員) 羽島市で子育てをしているが、子育て支援施設の利用や地域での行事など利用することによりコミュニティが広がり楽しく感じる。消極的な方へも、羽島市の子育ての楽しい部分を知っていただき、もっと皆で子育てをしていけると良い。

(委員) 病院小児科に勤務している助産師さんから、分かりやすい周知チラシがあると良いとの声がある。病院では、様々な自治体の患者様がみえるため、すぐに該当している自治体の情報をお伝えしたい。羽島市は子育てハンドブックがあるので分かりやすい。その時々で作成したチラシは系統だっていないため、説明しづらいので、年齢別や目的別になったA3で1枚くらいのチラシがあると良い。

(2) 特定教育・保育施設の利用定員について

(委員) 福寿保育園が認定こども園に移行する予定とのことだが、他の保育園の移行予定はどうか。

(事務局) 現時点では、他の保育園については認定こども園への移行予定は聞いていない。

(3) 子育て支援企業の認証及び表彰について

羽島市子育て支援認証企業表彰企業の審査については、羽島市情報公開条例第9条第1項第2号、法人等に関する情報に該当するため非公開。

4 その他

—事務局より今後の会議日程等を報告—

5 閉会